エポカル武雄だより
2024年3月 第180号

EPOCHAL TAKEO
エポカル武雄
武雄市図書館・歴史資料館

TOPIC ご存じですか？ 武雄市図書館の建築デザイン

2000年に開館し、2013年にリニューアルオープンした武雄市図書館・歴史資料館と、2017年に開館した武雄市こども図書館は、それぞれ2013年と2020年にグッドデザイン賞を受賞しています。今回はそんな武雄市図書館・歴史資料館と武雄市こども図書館の建築デザインについて紹介いたします。

2000年～武雄市図書館

▲和紙作家 堀木エリ子さんによる和紙作品

2013年～武雄市図書館およびこども図書館

▲原研哉さんによるロゴデザイン

PICK UP 関連図書のご紹介

※画像はイメージです

『PROPOSE TO THE FUTURE 佐藤総合計画
コンペ・プロポーザルで時代に提案する』
出版者：新建築社

2000年開館時と2013年改修時それぞれの設計テーマが紹介されています。

『シェア空間の設計手法』
猪熊 純・成瀬友梨／責任編集
出版者：学芸出版社

2013年リニューアルオープン時の設計について、詳しい説明が掲載されています。

◀当館が過去に受賞したグッドデザイン賞については当館ホームページのこちらから詳細をご覧いただけます。

https://takeo.city-library.jp/good-design-award.html

TOPIC 大人の司書体験講座　参加者募集

図書館司書の仕事を体験してみませんか？ 3月は、本を綺麗に保つための装備・修理編を開催いたします。

開催 3月2日（土）・3月9日（土）
14:00～16:00　本の装備・修理編

※同じ内容を2日にわたって開催いたします。

対象 18歳以上の方　**定員** 各回5名　**参加費** 無料

受付場所 武雄市図書館 返却カウンター

TOPIC 江戸時代の不思議な話・こわい話

武雄市は、江戸時代に出版されたさまざまな本を所蔵しています。今回エポカル武雄だよりでは、その中から化け物や妖怪、幽霊などが登場する本を紹介します。

御伽百物語 巻之三

出版年：宝永3（1706）年
武雄鍋島家資料（武雄市蔵）

京都の青木鷺水が書いた怪談集です。怪談は鷺水が創作したもので、その多くは中国の怪談や奇談（めずらしい話、不思議な話）をもとに書かれています。全６巻の内、武雄市は3巻目のみを所蔵しています。

「御伽百物語 巻之三」の「西六条の妖化」は、京都の西六条に住む男の家でさまざまな怪奇現象が起こる話です。

（拡大図）

◀男が川で奇妙な生きものを釣り上げた場面。この生きものを庭の池に放したことをきっかけに、怪奇現象が起こるようになります。

北越奇談 巻之一～五

出版年：文化9（1812）年
武雄鍋島家資料（武雄市蔵）

現在の新潟県に伝わる不思議な話や怪談などを紹介する本です。さし絵の多くは、浮世絵師の葛飾北斎が描いています。全6巻の内、武雄市は1～5巻を所蔵しています。

▲「北越奇談 巻之五」の「其十三」より、きつねが道ばたの地蔵を背おい、こどもを背おった女性に化けようとする場面。

▲男の家で怪奇現象が起こる場面。勝手に動きだす釜や仏像の様子や、男の頭上から石が落ちてくる様子、男が何者かに棒で足をたたかれる様子などが描かれています。

今回紹介した資料は、武雄市図書館・歴史資料館内のこども歴史コーナーでも展示予定です。

※災害時等、緊急時は休館いたします。

発行：武雄市図書館・歴史資料館

武雄市図書館　9:00～21:00　年中無休　TEL.0954-20-0222　Fax.0954-20-0223
ホームページ：https://takeo.city-library.jp/

歴史資料館　9:00～17:00　月曜休館　TEL.0954-28-9105　Fax.0954-28-9205
ホームページ：https://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html